



広報おんな

平成10年8月発行(No.211) 恩納村 総務課 TEL(098)966-8006

“夏まつり” 子ども達も元気イッパイ



(村制施行90周年記念)

第15回「うんなまつり」 盛大に開催される

青と緑の豊かな活力ある村

村のひと(6月末日)

男	4,846人	(+17)
女	4,625人	(+7)
計	9,471人	(+24)
世帯数	3,146世帯	(+11)

◆青少年深夜はいかい防止大会

◆美化コンクール前兼久最優秀賞に

◆むらの話題 稲刈体験に100名余りが参加 他

「芸術の森・彫刻シンポジウム」のお知らせ テーマ：おきなわ

◆会場：恩納村「県民の森」内特設会場 ◆期間：8月31日(月)まで

さまざまな催物がいっぱい

親子陶芸教室

日時：平成10年8月9日(日)午後1時～午後5時
場所：沖縄県民の森・制作会場近く
受付：親子50組
参加料：500円

※優秀な作品は、8月31日の除幕式で表彰します。

親子彫刻体験教室

日時：平成10年8月16日(日)午後1時～午後5時
場所：沖縄県民の森・制作会場近く
参加料：無料

芸術の森・オープン記念彫刻展

期間：平成10年7月21日～平成11年7月20日
場所：沖縄県民の森・冒険広場

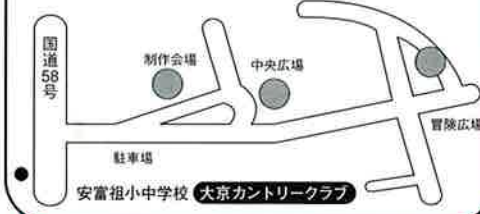
森と暮らし展

期間：平成10年8月15日(土)～8月16日(日)
場所：沖縄県民の森・森林学習展示館

7月21日オープニング



沖縄県民の森 芸術の森・オープン記念彫刻展会場



自然と人間の凝縮した心を発表

芸術の森・彫刻シンポジウム(主催・同実行委員)の開会式が7月21日、県民の森で開催されました。

このシンポジウムは、沖縄の魅力ある観光拠点づくりとして開催されるもので、県内では初めての開催となります。夏休みいっぱいの8月31日までの期間開催され、彫刻家9名の作品公開制作や親子参加の陶芸教室、彫刻体験教室、森と暮らし展などが企画されています。

期間中県内彫刻家の作品も展示されますので、この機会に村民の皆様も県民の森へ足を運ばれてはいかがでしょうか。

安全で快適にマリンスポーツを楽しむために 石川地区恩納水難事故防止推進協議会

水難事故防止を組織的に推進するために設置されている。石川地区恩納水難事故防止推進協議会の第十五回定期総会が、七月十七日村コミュニティセンターで開催されました。総会では、去った四月に石川署管内で募集審査されたポスターと標語の表彰式も行われました。村内で入賞した作品は左のとおり。

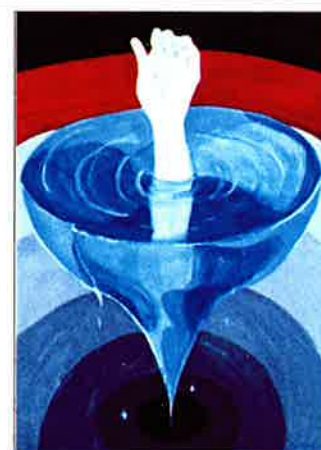
水難事故防止推進
定期総会



▲比嘉村長が会長を務めています。

優秀賞

石川 亜鐘(恩納中三年)



佳作

當山絵里奈(安富祖中三年)



佳作

仲村 廣都(仲泊小四年)

穏やかな海 優しい海
ひとりで行くと こわい海

佳作

大城 莉亜(恩納小四年)

親の目は
子供達の命づな



佳作

伊波真貴子(恩納中二年)

村民芸能の夕べ



村文化協会による幕開け



前兼久子ども会

舞踊・民謡もありました

第15回

うんなまつり

夏まつり

九十周年記念

を楽しむ

恩納村制

比嘉村長開会宣言



県内外にアピール



役員による鏡割りとテープカット

式典・開会宣言

夏恒例の村民イベント、うんなまつりが、七月二十五日と二十六日の両日、村コミュニティセンター周辺広場を中心に開催されました。本格的な夏を迎え、暑さも厳しさを増す中、まつり実行委員会の委員長、比嘉村長の宣言でまつりは開会され、まつり二日目には、一時雨に降られはしたものの会場には多くの人で賑わいをみせました。また、これまで物産交流で十周年にあたる岡山県加茂川町の片山町長への感謝状の贈呈もあり、交流十周年の節目の年を村民で祝いました。その他、中学生吹奏楽演奏や村民出演の芸能の夕べ、舞踊や民謡等で楽しませ、ちびっこ達は、魚のつかみ捕りやジャンボ力ルタ等でまつりを満喫していました。



幼稚園児童大会

山田幼稚園のひさとくんとかあやさん

うんなまつり二日目の日曜日の午後には、村内幼稚園児十一名が参加しての第九回児童大会が開催されました。会場となった村コミュニティセンターには、園児の父母などがいっぱい詰め掛け、園児は一生懸命ゼスチャーも交えながら発表してくれました。しかし、これまでの練習とは違い会場いっぱいに詰め掛けた観客の前に、練習の成果が出せない子もいました。喜瀬武原幼稚園から出場した神里さやかちゃんは、ウチナー口で「もたらう」を元気に発表して会場を沸かせました。会場からは、元気いっぱい可愛らしく発表する園児に大きな拍手が送られ、園児の父母はひやひやしながらも発表を見守っていました。



うんなまつりファイナーイベント

「アヤマバンド」で盛り上がり切りました



ちびっこあつまれ

村内3園合同のエイサーも発表



よーいスター

ちびっこに大人気の魚のつかみ捕り



ちびっこカラオケ

南恩納子ども会の有砂さんと春香さん



加茂川町との物質交流も10周年

比嘉村長と加茂川の片山町長
「さらなる交流を約束」

地域振興ナベで牛汁をふるまう

青少年の深夜はいかい防止大会 村民大会を実施

青少年の深夜はいかいを防止しようと、七月十七日県下一斉に青少年深夜はいかい防止大会が開催され、村でもコミュニティセンターで関係者約百名が参加し村民大会が開催されました。

大会主催者である村青少年健全育成協議会の会長、比嘉茂政村長からは、「子ども達の意見を聞いて、村民で共に考える場としていきたい。」とあいさつがありました。また、高校生の部で発表した名護高校二年の真栄城織江さんは「親も子どもにもっと関心を持ってシンデレラタイムを実行して下さい。」と発表がありました。



▲親も子どもにもっと関心をと真栄城さん

大会宣言

1. 青少年の深夜はいかいを村民総ぐるみで防止しよう
1. 家族のふれあいを深め、明るく楽しい家庭づくりに努めよう
1. 青少年を事件や交通事故・水難事故から守ろう
1. 青少年を飲酒・喫煙・シンナー等薬物乱用から守ろう
1. 青少年に不必要・不健全なアルバイトをやめさせよう
1. 村民一人ひとりが「シンデレラタイム」を励行しよう
1. 青少年の「いじめ」をみんなでなくそう



▲出発式会場の富着区民もガンバリました

「海の日」から七月三十日までの「海の旬間」を前にして、村では七月十七日に村全域でビーチクリーンアップを実施しました。

村民参加のもと海に親しみながら環境美化を図り、郷土愛を深めようと空缶散乱防止キャンペーンと統合して実施されました。

出発式の会場となった富着ビーチには、区民と関係者約七十名が参加して開催され、住民代表であいさつした知花洋子区長から、「これを機会にビーチ利用者のモラルが高くなることを期待します。」とあいさつがあり、午前中クリーンアップ作業が実施されました。



▲前兼久でもクリーンアップにたくさん参加

北島さんのひとり芝居を楽しむ

やんばろ文化事業恩納村でも開催

沖縄芝居実験劇場の代表を務める北島角子さん出演による、ひとり芝居「ふるさとへ帰ろうよ、あなた」の公演が、六月二十六日にコミュニティセンターで開催されました。

この公演は、やんばろ文化事業としてジャンボ宝くじ助成事業からの助成で北部十二市町村で開催されました。

公演前の主催者あいさつで大城助役から、「終戦後県民に勇気をくれたのが、芝居や歌等であり、

沖縄の文化に欠かせない芸能です。」とあいさつがありました。

芝居では、ヤンバルに一人で暮らす老婆が八十五歳の誕生日のお祝いにかけつけた息子に語って聞かせる。戦中、戦後どのように生き抜いてきたかという内容。

今回の芝居も北島さんが誇りとしている沖縄女性をテーマにしたもので、公演中会場では北島さんが熱演するひとり芝居に笑いや時には涙してと観客は舞台に見入っていました。



▲北島さんの熱演に花束のプレゼント

中学生が日頃考えていることを発表

第九回恩納村少年の主張大会

比嘉村長が会長を務める、村青少年健全育成協議会主催で実施されている「少年の主張」大会が、七月三日村コミュニティセンターで開催されました。

第九回「少年の主張」大会は、村内の中学生が日頃考えていることを広く村民に発表し、発表力を身につけることを目的に開催されるもので、村内各学校から代表十名が発表してくれました。

会場には、応援の中学生や職員など約一五〇名の村民が参加

して開催されました。

主張発表の結果、喜瀬武原中学校二年、宇江城梢さんが発表した「争いの時代から、平和の世紀へ」が最優秀賞に輝き、九月に開催される中頭地区大会へ村代表として派遣されることになりました。

また、主張の進行も安富祖中学校の富山あかねさんと富山絵理奈さんが行い、中学生に活躍する機会を与える有意義な大会になりました。



▲写真中央が宇江城梢さん おめでとう！

エッセイ

本の「まえがき」

伊芸元一（恩納区）

自分自身における夜更しは、近ごろの体調を考慮してその頻度がすこぶる減少している。とは言うものの、年末年始に集中する酒の付き合いは欠かせない。年に一度のことだから仕方がないのとあきらめてはいるが、この期間以外の酒は遠慮している状況であり、疎遠で迷惑をかけている所には申し訳ない。

ところが、読書三昧でも夜更しはしている。たまにはあるが。若い頃は、一切本とは無縁であったので、今は食べるようにページを捲っている。常に、自分自身に役立つものを中心に、例えば写真や絵画評論関係、そして、芸術家や著名人のエッセイ等、雑誌を含めて耽読の日々である。

今回は、著名人の本にある面白い部分で、まえがき、まをを紹介しようと思う。人生論的であり、又は比喩的でもあり、本文の中からは一刀両断に斬り捨てるところが面白い。

その本とは、数年前にベストセラーになった永六輔の「大往生」という文庫本を少し大きくした本である。著者が全国を旅しながら集めた人々の言葉が主体であるが単なる言ひ做しではなく、それぞれが括弧かされていく。続け様に最後まで読んでしま



▲これからもガンバリます！

地域に優しい生活への努力を推進し、平和で美しい村づくりに寄与することを目的に六月二十九日に村婦人会主催による、美化コンクールが開催されました。

婦人会では、四月から翌年の三月までの一年間を美化運動期間として取り組んでいます。

花壇の手入れや環境整備等が婦人会のみならず、地域ぐるみで推進され継続されていることが審査基準となりました。

審査の結果前兼久婦人会（幸

前兼久婦人会が美化コンクール優勝 平成十年度婦人会美化コンクール

地秀子会長）が区全体の活動成果が認められ最優秀賞に輝きました。

前兼久婦人会は、九月に中部地区婦人連合会主催の美化コンクールに恩納村代表で審査を受ける予定になっています。

前兼久婦人会の幸地秀子会長は「今回、最優秀賞を受賞できたのも老人会の皆様から協力をいただいたからです。」と感想を述べていました。

これからもガンバッテ下さい。

カバリーには「人は皆必ず死ぬ。死なないわけにはいかない。それなら人間らしく死を迎えるために、深刻がらずに、もっと気

楽に「老い」「病い」、そして「死」を語り合おう」とあり、これが本のタイトルでもある「大往生」へと展開されている。さらに、全国津々浦々を旅する中で聞いた、心にしみる庶民のホンネや寸言をちりばめつつ、自在に書きつづられた人生の知恵と文は継ぐ、つまり著者がいう「生き方の講座」本である。「まえがき」にもあるが、著者の父が大好きだった巷に生きる人々の言葉は引用にまとも所謂著名人の言葉は引用を控えているとある。しかし、その「まえがき」に寺山修司と井上ひさしのことがあ

る。ここには後者のものを引用しよう。

「むづかしいことをやさしく、やさしいことをおもく。おもいことをおもしく。」

そして、著者はいう「大往生」とは、死ぬことではない、「往つて生きる」とである。

寺に生まれ育った坊主になりそこねた著者が、父を看取り、さらには親友を失って、「死」を身近に接している頃、出演していたラジオの子供電話相談室で「どうせ死ぬのに、どうして生きているの？」という質問に絶句し、亡き父「たうらう答えるだろうと、まえがきは結んでいる。

最後に著書が著わした幾多の著書に「無名人語録」というのがある。その中からの名文です。

「叱るな子供、来た道だもの。嗤うな年寄、行く道だもの。」

介護保険制度がはじまります

平成12年4月1日から

介護保険は老後の安心を皆で支える仕組みです

わが国では急速な高齢化とともに、介護の問題が老後の最大の不安要因となっています。

介護が必要になっても、残された能力を活かして、できる限り自立し、尊厳を持って生活できるようにすることは国民共通の願いですが、現実には家族だけで介護を行うことは非常に困難になっています。

介護保険制度は介護を社会全体で支え、利用者の希望を尊重した総合的なサービスが安心して受けられる仕組みを創ろうとするものです。

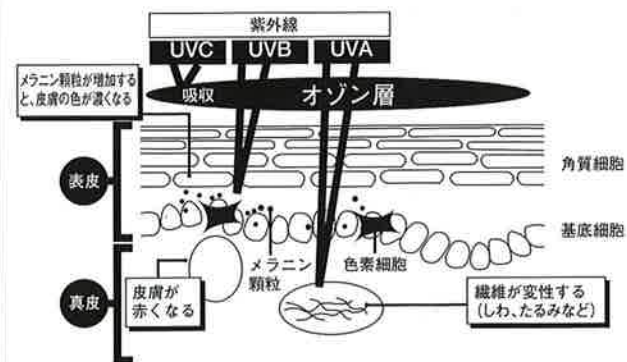
- ◆制度の運営主体（保険者）は、各市町村です。
- ◆制度のはじまりは、平成12年4月からです。
- ◆介護保険に加入するのは、40歳以上の人です。
- ◆寝たきりや痴呆になったらサービスが受けられます。
- ◆保険料は所得に応じて決まります。
- ◆高齢者の保険料は、原則として高齢年金から天引き。
- ◆サービスを利用するときは、村に要介護認定を申請します。
- ◆介護保険では在宅サービスと施設サービスが受けられます。
- ◆自己負担（利用者負担）は1割です。

	第1号被保険者	第2号被保険者
対象者	65歳以上の人	40歳以上65歳未満の医療保険に加入している人
給付の対象者	●寝たきり、痴呆などで入浴、排せつ、食事などの日常生活動作について常に介護が必要な人 ●家事や身じたく等の日常生活に支援が必要な人	初老期痴呆、脳血管障害など、老化にともなう病気によって介護等が必要となった人
保険料	所得段階に応じて市町村ごとに設定 (平成12年度全国平均1人当たり 月額2,500円程度(平成7年度価格))	加入している医療保険の算定方法に基づいて設定
保険料の支払方法	●年金額が一定額以上の方は、年金から天引き ●それ以外の方は市町村に個別に支払い	医療保険料と一括して支払い

こんにちは保健婦です。 今回のテーマは《日焼け》

若いからといって安心できません。確かに若い時期は皮膚の新陳代謝もスムーズなので回復力にすぐれ、日焼けが消えるスピードも速いといえます。

しかし、皮膚の年齢は「暦の年齢」と「紫外線を浴びた時間」とで決まります。皮膚を少しでも若い状態に保つためには紫外線を防ぎと共に日焼け後の手入れが重要です。



紫外線のなかでも、UVA、UVBが皮膚に侵入し、日焼けの原因となる。UVBは色素細胞を刺激してメラニン顆粒を増加させ、皮膚を黒くさせる、さらにひどくなると皮膚に炎症を起こす。「しわ、たるみ」などを引き起こす。

〈紫外線から皮膚を防御する工夫〉

- 紫外線防御化粧品（サンスクリーン剤など）、●日傘、帽子などの利用紫外線防御繊維の利用



SPFの数え方
SPF1:20分
(例: SPF12=20分×12=240分=4時間)
SPFとは、紫外線を防御する能力をいい、数字は時間の目安を表す。数字の1は、20分間に当たる。例えば、「SPF12」とある場合、「4時間の紫外線の照射から皮膚を守る」ことを示す。

〈手入れ〉

日焼け直後で皮膚が真っ赤になっているときは、まず「水で冷やす」ことが必要です。このとき化粧水などでパックする人がいますが日焼け直後の肌は「やけど」をしているのと同じ状態です。化粧水は、肌を刺激することがありますので避けたほうがよいでしょう。化粧水やクリームを使用する場合は、肌の状態が落ち着いてからにしましょう。



▲大会チャンピオンの仲村直也さんと女子の部優勝の野口幸子さん

第20回恩納村ゴルフ選手権

恩納村ゴルフ選手権が7月6日、大京カントリークラブで、210名余りが参加して開催されました。

真夏の太陽が照りつける中、選手権に参加した選手らは、暑さに負けないよう、一生懸命プレーに集中していました。

大会結果は次のとおりです。	※スコアはグロス
大会チャンピオン	仲村直也 70
Aフライト	優勝 吉田 功 73
Bフライト	優勝 宮崎 豊 79
Cフライト	優勝 比嘉豊林 87
シニアの部	優勝 野里耕明 77
女子の部	優勝 野口幸子 81



▲左から長浜さん、仲宗根さん、安富祖さん

真栄田区は7月5日、釣り大会を開催して区民の親睦を深めました。各賞は次のとおり。

大物賞:長 浜 長次郎(オニカスマ) 11.1キロ
重量賞:安富祖 豊 貞(タネラー) 13.5キロ
数釣り賞:仲宗根 登喜美(157匹)



▲心のもったプレゼントありがとう

J Aやんばる女性部、恩納支部(東ミネ子会長)は7月1日、約50個の手作り味噌を村社会福祉協議会と協力して、村内一人暮らしのお年寄りに使って下さいと、味噌をプレゼントしました。

仲泊区が初優勝

恩納村体育協会(新門信雄会長)主催による、第4回各字対抗ボウリング大会が、6月21日、村内全字が参加して、沖縄市にある美里パークレーンズで開催されました。

大会では、谷茶区が大会4連覇を目指して参加したが、仲泊区が大健闘。6人チーム戦1位、3人チーム戦3位と大健闘をみせ、大会初優勝に輝きました。大会成績は次のとおり。

ボウリング大会優勝	仲泊チーム
2人チーム戦 1位	山田Bチーム 1,198
3人チーム戦 1位	谷茶Aチーム 1,793
6人チーム戦 1位	仲泊チーム 3,348
個人戦決勝戦 1位	糸数勇(山田) 2,470



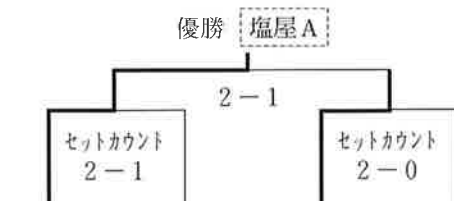
▲優勝おめでとう仲泊チーム

壮年バレー塩屋区が優勝に輝く

壮年層の体力の増進と親睦をねらいとした。村教育会主催による壮年バレーボール大会が、改築された安富祖校体育館で7月19日、15チームが参加して開催されました。

決勝リーグには、塩屋A、山田A・B、仲泊区の四五六会で争われましたが、決勝で塩屋Aチームが接戦の末山田Bチームを破り優勝に輝きました。

決勝リーグトーナメント表



塩屋A 山田A 山田B 仲泊四五六会



▲優勝した塩屋Aチーム



▲知事旗をたかだかと優勝を喜び



▲目標を持って下さいと比嘉村長



▲上地社長から大城助役に目録の贈呈



▲はじめての体験「ガンバリました」

県知事旗争奪第十五回全島万座ハリーフェスティバルが、七月五日、肌が焼け付くような日差しの下、万座ビーチホテルで、県知事旗争奪、チャレンジの両レースに過去最多の六十七チームが出場して開催されました。

県知事旗争奪レースには、前回準優勝の前兼久チームと恩納クラブが参加し、前兼久は惜しくも決勝進出はなりませんでしたが、恩納クラブが大会七連覇した奥武島爬龍クラブについて二位に入る健闘をみせました。

チャレンジレースでは、決勝進出した六チームによるタイムレースにより奥友ハリークラブが優勝しました。

また、恩納村長特別賞には、地元恩納村から男女混成で参加して大会を盛り上げた万座ビーチチームが輝きました。

会場には、家族や職場の友人らが太鼓や歓声を上げながら応援し大会を盛り上げていました。



▲地元恩納クラブ来年は優勝だ！



▲皆さんの斬新なアイデアを期待します。

教育講演会で 村長が講演

人権教育の一事業として、六月二十六日仲泊校で、比嘉茂政村長を講師に招いての教育講演会が開催されました。

講演会には、仲泊校の小学四年から中学三年までの児童生徒と教職員が講演会に参加しました。

村長は、村の歴史や村と教育委員会の仕事について子ども達に解りやすく説明し、自分自身の少年時代の思い出話もありました。

また、講演の中で村長は子ども達に、「自分がどういふ人間になりたいか目標を持って努力して下さい」と激励しました。

「チーム未来おんな」 委員を委嘱

県米軍基地所在市町村に関する懇談会提言に基づき、村の将来の地域づくりを反映させていくことと「チーム未来おんな」の委員十名への委嘱状交付式が七月八日、村役場で行われました。

「チーム未来おんな」は、懇談会の提言に基づき地域振興策の調査、検討を行い村長に提言し、村の将来のビジョンづくりに役立てていくことと組織されました。

委員には、建設業、団体職員等様々な職種の皆さんに委嘱状が交付され、委員長に平安名盛智さん、副委員長に比嘉義視さんが選出されました。

傷無庭(キジムナー) で交通安全

国道五十八号線の交通事故防止の守り神として、交通安全を応援しようと、琉球村からのキジムナー像の贈呈式が七月七日、仲泊内海で開催されました。贈呈式では関係者による除幕から始まり、キジムナー像への入魂式も行われました。琉球村の上地敏夫社長からは、「これからの交通安全を心からお祈り致します。」とあいさつがありました。

今回贈呈された像は、仲泊内海と恩納交番前、石川署前の三ヶ所に設置され、交通事故防止の守り神として、皆さんの安全を応援しています。

海水浴ボランティア に村民も協力

福岡県ふれあいとチャレンジの翼(福岡県社会福祉協議会主催)一行約七十名が七月二日、恩納村を訪れ万座毛見学やムービービーチで海水浴を楽しみました。

海水浴では、村から参加したボランティアの皆さんも協力して安全で楽しい海水浴ができるように、一緒に海に入り介助を行い交流を深めました。

また、村役場の職員も特別休暇(ボランティア休暇)を利用して介助協力を行いました。

ボランティアに関する問い合わせ
村社会福祉協議会 ☎ 九六六・八五〇・九



▲介助者の手助けで海水浴を楽しみました。



▲約500kgも収穫。豊作でした。

海での安全対策

夏は、海など大自然と触れ合う絶好の季節。一方、そうした場所だけが命を落としたりする事故も、1年のなかで最も多く発生しています。海水浴等に出掛ける方は、しっかり安全対策をしてから出掛けましょう。

夏を満喫し
楽しむために



■水辺の事故は命にかかわる

海や川などでの水難は、直接命にかかわることが多く、十分な注意が必要です。平成9年は年間発生件数の半分に当たる1,018件が6～8月の夏季に発生し、水難者数は1,177件人、そのうち559人が尊い命を失っています。

◆安全対策のポイント

【悪天候のときは泳がない、沖にでない】

【泳ぐ前にしっかり準備運動を】

◇遊泳中に溺れたりしないように、準備運動は不可欠です。

【お酒を飲んだら泳がない】

◇お酒を飲んで海に入ると、心臓麻痺を起こしたり、溺れたりする事故につながりやすくなります。

【遊泳禁止区域では泳がない】

◇河口付近など遊泳禁止区域になっている場所は、急に深みがあるなど危険です。

【水上オートバイなどは安全運転を】

◇水上オートバイやモーターボートは安全運転を。海水浴場には乗り入れないで下さい。

子どもの命は大人が守る

大人はシートベルト・子どもにはチャイルドシート

免許を持っている人の割合は、今や男性が8割以上女性も5割を超えています。車を使う家庭では、子どもを一緒に乗せる機会が多くなっていますが、同時に増えているのが幼い子どもの自動車乗車中の死傷事故です。危険を予測できない子どもの命は、大人が守らなければなりません。チャイルドシートの着用は大人の責任です。

＜チャイルドシート・利用のポイント＞

●チャイルドシートは後部座席に
くやむを得ず助手席に取り付ける場合
エアバック装着の助手席に取り付けると
きは、シートを一番後ろに下げ、必ず前
向きに取り付ける。

児童用シート
(ジュニアシート)
体重15～32kg程度
年齢4～10歳程度



幼児用ベットの
(ベビーシート)
体重10kg未満
年齢0～12カ月程度
●チャイルドシートは
赤ちゃんのときから。
●嫌がっても着かせ
て習慣にしましょう。



●しっかり固定する……
取扱説明書をよく読み、
しっかり取り付ける。

幼児用シート
(チャイルドシート)
体重7～18kg程度
生後6カ月～4歳程度

●体格に合った
チャイルドシートを選ぶ

少年の薬物乱用防止



石川警察署 生活安全課 ☎964-4110



▲アピール文を読み上げる當山和子村婦人会長

6・6ゴミ問題を考えるシンポジウムアピール

6月6日に具志川市で開催されたゴミ問題を考えるシンポジウムのアピールを携えて7月7日、シンポジウム共催の中野北ゴミ問題を考える連絡会の他、共催団体の代表が、村役場を訪れ比嘉茂政村長へアピール文を手渡した。また、望ましいゴミ処理施設を実現するため住民、行政、事業所専門家で構成する審議会の設置の要請もありました。

比嘉村長は、今回のアピールを慎重に受けとめ、村の環境行政の中で住民と共に考えていきたいと述べていました。

8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」

正午には黙とうを

プール開放事業を実施しています 村民の皆さんにもプールが利用できます！

村教育委員会では夏休みの期間中、村内各学校にあるプールを子ども達並びに一般にも開放しておりますので、気軽にご利用ください。

■期 間：7月21日(火)～8月31日(月)

毎週日曜日は定休日になります。

■時 間：午前10時～正午 午後2時～午後4時

■料 金：子ども(50円) 大人(100円)

■お願い：管理人、監視人の指示に従ってください。
また、体調の悪い方等はご遠慮下さい。

問い合わせ：村教育委員会社会教育課 社会体育係
☎966-8506

“みんなですめる交通安全”全国キャラバン隊

恩納村受入式は8月27日(金)

高齢者や若年層の死亡事故が多発し、沖縄県交通安全母の会連絡協議会では、母親の立場で「交通安全は家庭から」を活動の指針として、交通安全母親活動の重要性を再確認し、地域の実情に即した効果的な交通事故防止活動を組織の末端まで浸透させ、母親活動の一層の推進に努めることを趣旨に交通安全キャラバン隊を実施します。

◆◆◆◆恩納村受入式◆◆◆◆

日時：8月27日(金) 11:45～12:35

会場：村コミュニティセンター(大ホール)

対象：交通安全母の会・婦人会・幼児と父母・児童生徒・高校生・幼稚園児・高齢者等・その他

主催：沖縄県交通安全母の会連絡協議会/全国交通安全母の会連絡協議会

【問い合わせ：村交通安全推進協議会 ☎966-8006】



青少年の育成に役立てて下さいと、名嘉真区にある丸宮組の代表金城清氏から比嘉茂政村長に50万円の寄付がありました。
村では、寄付金を育英基金として青少年の育成に役立てる方針です。

◀写真中央が丸宮組代表の金城清氏



6月22日、万座ビーチホテル15周年記念祝賀会が開催され、村内5校にテレビとビデオが贈呈されました。また、恩納村制90周年を記念して、村にテクノジャンボの模型も贈呈されました。

児童扶養手当・特別扶養手当のお知らせ

【児童扶養手当】

児童扶養手当は、現在、母子で生活されている方等に対して支給される手当です。

1. 今年の8月以降の所得額が改定されたのでお知らせ致します。

本 人 (2人世帯)

全部支給 (所得) 904,000円→904,000円

一部支給 (所得) 2,722,000円→1,920,000円

扶養義務者 (6人世帯)

(所得) 7,317,000円→4,260,000円

2. このたび、制度の改正により、未婚の母子の方で児童が父親に認知を受けた場合も手当を受けることができるようになりました。

【特別児童扶養手当】

家庭において介護されている心身に障害を有する児童に対し、手当を支給することにより生活の向上を図ります。

資格：20歳未満の障害児童に支給されます。

児童扶養手当・特別児童扶養手当受給者の方へ

現在、この手当を受給されている方は、次のとおり提出して下さい。

児童扶養手当→現況届 特別児童扶養手当→所得状況届

届出期限/平成10年8月11日～9月10日まで

届 出 先/村保健福祉課 福祉係966-8001(内線110)

転 入 者/平成10年1月1日以降転入してきた方は
前住所地より児童・特別扶養手当用所得証明の提出もあわせてお願いします。

※詳しくは担当窓口までお問い合わせ下さい。

8月は行方不明者等捜査強化月間です

県警では、8月中を「行方不明者等捜査強化月間」と定め、全国規模の調査、照会を行い、音信不通者や家出人、特に凶悪犯罪の被害者となっているおそれのある特異家出人の発見、保護に努めています。
ご家族や友人、知人で、家出やその他の理由で行方不明、または音信不通になっている方がおられましたら、警察本部が最寄りの警察署に開設中の「行方不明者」を捜す相談所にご連絡下さい。

個人の秘密は固く守ります。

相談所：石川警察署 ☎964-4110

刑事課(内線234) 生活安全課(内線251)



▲表彰おめでとう左から島袋さん、金城さん

石川地区防犯協会の定期総会が6月12日石川市保健センターで開催され、総会終了後の表彰式で、村から金城盛建(村子連会長)と島袋直正(前仲泊校PTA会長)が防犯活動の成果が認められ表彰されました。